



ミシマ社  
MISHIMASHA

文芸書ご担当者さま

# 小田嶋隆のコラム道

判型: 46判並製/頁数: 256ページ/価格: 1,500円(+税)/ISBN978-4-903908-35-9 C0095/装丁デザイン: 尾原史和



(装丁ラフ)

## 抱腹絶倒！ 小田嶋隆(著)

### 天才オダジマが本職、コラムを語る!!

ナンシー関も去り、もはやコラムニストがほとんどいなくなった日本の活字世界。その中で、一人独自の世界を突き進む小田嶋隆氏が、はじめて「本業」の術を語る。コラムニストは「型枠職人」である、と言う。一方で、「いかに普通に書かないか」が勝負だとも言う(ちなみに、氏は数年前Yゼミの「小論文模試」でD判定をとった。「正しく」書けないのだ)。その真意を、具体的かつ辛口に書き下ろした、業界騒然の一冊。

⇒笑えて深遠。面白すぎる、奇跡のコラム論です。

——「飛距離とミート。コツンと当てつつフルスイングってやつだ。つまり、ダブルバインド。さよう。コラムは、ダブルバインドのうちにある。」(本文より)——

#### ●目次

- 第一回: コラム道に至る隘路
- 第二回: コラムとは何か
- 第三回: コラムと枠組み
- 第四回: 会話はコラムの逃げ道か
- 第五回: モチベーションこそ才能なり
- 第六回: 書き出しについてのあれこれ
- 第七回: 結末、結語、落ち、余韻、着地

- 第八回: コラムにメモはいらない?
- 第九回: 文体と主語(その1)
- 第十回: 文体と主語(その2)
- 第十一回: 推敲について
- 第十二回: すべては要約からはじまる
- 第十三回: 裏を見る眼
- 第十四回: 長さのコラム
- 特別対談: 小田嶋隆×内田樹

巻末に内田樹との  
特別対談を収録!

「オダジマさんは、日本の宝です」

#### ●著者紹介 小田嶋隆(おだじま たかし)

1956年東京赤羽生まれ。早稲田大学卒業。食品メーカー営業マンを経て、テクニカルライターの草分けとなる。国内では稀有となったコラムニストの一人。著書に『我が心はICにあらず』(光文社文庫)、『人はなぜ学歴にこだわるのか』(知恵の森文庫)、『1984年のビーボール』『サッカーの上の雲』(以上、駒草出版)、『地雷を踏む勇氣』(技術評論社)、『その「正義」があぶない。』(日経BP社)、共著に『9条どうでしょう』(毎日新聞社)、『人生2割がちょうどいい』(講談社)などがある。

【5月刊】『小田嶋隆のコラム道』小田嶋隆(著)	ご注文数	冊
併売 おすすめ 【2刷】『文章は写経のように書くのがいい』香山リカ(著) ISBN: 978-4-903908-12-0	ご注文数	冊
【2刷】『書いて生きていく プロ文章論』上阪徹(著) ISBN: 978-4-903908-23-6	ご注文数	冊

#### \* ミシマ社の本の仕入方法について (基本パターン) \*

- 直接取引(返品可) \* 詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。
- ①掛率: 70%
- ②納品: 宅配便で直送します(送料はミシマ社負担)。
- ③返品: 随時入帳可能(送料は書店様負担)。
- ④精算: 新刊などは3ヵ月後、補充などは当月請求。  
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、次回の請求より相殺を原則とする。
- ⑤支払: 月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
- 取次ルート(返品不可)  
注文品のみ出荷、返品はできません。大洋社様経由で各取次へ搬入します。



【直取引メインです】

貴店名:

ご住所:

TEL:

FAX:

ご担当者:

様

通信欄

株式会社ミシマ社 営業チーム行き  
〒152-0035 東京都目黒区自由が丘2-6-13 TEL:03-3724-5616

**FAX:03-3724-5618**

\* 番号のお間違えにご注意ください。